

事務事業名	健康推進員活動事業				担当	健康福祉部 健康増進課 成人健康係			
政策名	C	思いやりと安心に満ちたみんな元気なまちづくり				増補版施策名			
施策名	6	健康づくりの推進				☐ 実施計画上の主要事業			
関連個別計画	真岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略				事業期間	☐ 単年度のみ			
法令根拠	真岡市健康推進員設置要綱					☒ 単年度繰返（開始年度 平成14 年度～）			
予算科目	1. 一般会計	4. 衛生費	1保健衛生費	3保健指導費		☐ 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）			
事業概要	・平成14年度より市民の健康の保持増進を図ることを目的として、地域での健康づくりを推進するために設置。 ・区長の推薦で、市長が委嘱する。推進員は、区を単位とし1名を置く。ただし、500世帯を超える区については、複数の推進員を置く。任期3年。 ・研修会年3回実施 活動内容：地区での健康づくり事業の推進（健康講話・調理教室・運動教室等）・市の保健事業（講演会・健康フェスティバル・健康教室・生活習慣病健診等）への参加や地域住民に対して保健事業への参加を勧奨する。								

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 31年度実績 ・健康推進員研修会の開催（3回） ・地区での健康づくり事業の推進・支援を実施し、実施回数の増加につながった。 ・市の保健事業（健診・教室各種・市健康21ﾌﾟﾗﾝ講演会等）のPRを実施し、参加協力を促した。 2年度計画 ・第7期1年目（任期は令和2年度～令和4年度） ・活動内容は、令和元年度と同様。				⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移 <table><tr><th>名称</th><th>単位</th><th>28年度(実績)</th><th>29年度(実績)</th><th>30年度(実績)</th><th>31年度(実績)</th><th>2年度(見込)</th></tr><tr><td>ア 健康推進員研修会開催回数</td><td>回</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td></tr><tr><td>イ 区の数</td><td>区</td><td>134</td><td>134</td><td>134</td><td>134</td><td>134</td></tr><tr><td>ウ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>エ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>オ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>							名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	ア 健康推進員研修会開催回数	回	3	3	3	3	3	イ 区の数	区	134	134	134	134	134	ウ							エ							オ						
名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)																																														
ア 健康推進員研修会開催回数	回	3	3	3	3	3																																														
イ 区の数	区	134	134	134	134	134																																														
ウ																																																				
エ																																																				
オ																																																				
②対象（誰、何を対象にしているのか）＊人や自然資源等 健康推進員				⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移 <table><tr><th>名称</th><th>単位</th><th>28年度(実績)</th><th>29年度(実績)</th><th>30年度(実績)</th><th>31年度(実績)</th><th>2年度(見込)</th></tr><tr><td>ア 健康推進員数</td><td>人</td><td>155</td><td>155</td><td>155</td><td>153</td><td>155</td></tr><tr><td>イ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>ウ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>エ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>オ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>							名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	ア 健康推進員数	人	155	155	155	153	155	イ							ウ							エ							オ						
名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)																																														
ア 健康推進員数	人	155	155	155	153	155																																														
イ																																																				
ウ																																																				
エ																																																				
オ																																																				
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 市民の健康の保持増進を図るため、健康推進員の活動を支援する。				⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移 <table><tr><th>名称</th><th>単位</th><th>28年度(実績)</th><th>29年度(実績)</th><th>30年度(実績)</th><th>31年度(実績)</th><th>2年度(見込)</th></tr><tr><td>ア 健康講話実施区数</td><td>区</td><td>62</td><td>75</td><td>106</td><td>48</td><td>60</td></tr><tr><td>イ 栄養教室実施区数</td><td>区</td><td>44</td><td>46</td><td>46</td><td>41</td><td>45</td></tr><tr><td>ウ 運動教室実施区数</td><td>区</td><td>68</td><td>92</td><td>96</td><td>62</td><td>70</td></tr><tr><td>エ 定期的活動実施区数</td><td>区</td><td>42</td><td>33</td><td>37</td><td>45</td><td>50</td></tr><tr><td>オ 健康づくりに関するチラシ等回覧区</td><td>区</td><td>117</td><td>120</td><td>118</td><td>123</td><td>134</td></tr></table>							名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	ア 健康講話実施区数	区	62	75	106	48	60	イ 栄養教室実施区数	区	44	46	46	41	45	ウ 運動教室実施区数	区	68	92	96	62	70	エ 定期的活動実施区数	区	42	33	37	45	50	オ 健康づくりに関するチラシ等回覧区	区	117	120	118	123	134
名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)																																														
ア 健康講話実施区数	区	62	75	106	48	60																																														
イ 栄養教室実施区数	区	44	46	46	41	45																																														
ウ 運動教室実施区数	区	68	92	96	62	70																																														
エ 定期的活動実施区数	区	42	33	37	45	50																																														
オ 健康づくりに関するチラシ等回覧区	区	117	120	118	123	134																																														
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 健康な状態で生涯を暮らしてもらう。				⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移 <table><tr><th>名称</th><th>単位</th><th>28年度(実績)</th><th>29年度(実績)</th><th>30年度(実績)</th><th>31年度(実績)</th><th>2年度(見込)</th></tr><tr><td>ア 健康づくり事業に取り組んだ区の割合</td><td>%</td><td>87.3</td><td>87.3</td><td>88.8</td><td>91.8</td><td>95.0</td></tr><tr><td>イ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>ウ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>エ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>オ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>							名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	ア 健康づくり事業に取り組んだ区の割合	%	87.3	87.3	88.8	91.8	95.0	イ							ウ							エ							オ						
名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)																																														
ア 健康づくり事業に取り組んだ区の割合	%	87.3	87.3	88.8	91.8	95.0																																														
イ																																																				
ウ																																																				
エ																																																				
オ																																																				
(2) 総事業費の推移		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)																																													
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0																																													
		国庫支出金	千円	0	0	0	0																																													
		県支出金	千円	0	0	0	0																																													
		地方債	千円	0	0	0	0																																													
		その他	千円	0	0	0	0																																													
		一般財源	千円	838	887	867	805	865																																												
	事業費計（A）		千円	838	887	867	805	865																																												
	人件費	正規職員従事人数	人	6	6	6	6	6																																												
		延べ業務時間	時間	222	222	222	222	222																																												
人件費計（B）		千円	922	921	926	898	898																																													
トータルコスト(A)+(B)		千円	1,760	1,808	1,793	1,703	1,763																																													
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等																																																				
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？		従来の保健委員制度が廃止され、各地区での健康づくりを推進するために開始した。																																																		
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは 5 年前と比べてどう変わったのか？		・健康推進員設置要綱により真岡市全地区に健康推進員が設置され、地区役員とともに健康づくり事業を実施している。 ・年間を通じて定期的に活動する地区や、健康づくりに関するチラシ等を配布回覧する地区が増加してきており、健康推進員の活動が地区に定着している。																																																		
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？		健康推進員からの意見 ・参加者から「楽しい」との声が聞かれる。継続的に取り組みを行いたい。 ・男性参加者が増え、関心がわいてきたようだ。 ・内容によっては、若い人から高齢者まで参加して和気あいあいと地域が活性化する。 ・区、老人クラブ、育成会など一同に会した活動ができる																																																		

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか？	☒ 結びついている ☐ 見直し余地がある 各地区での健康づくりが実施され、市民の健康の保持増進が図られることは市の政策に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	☒ 妥当である ☐ 見直し余地がある 市民の健康の保持増進は市の基本理念に結びつくので妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	☒ 適切である ☐ 対象を見直す必要がある ☐ 意図を見直す必要がある 各地区に健康推進員を設置しており、適切である。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地はない ☐ 向上余地がある 健康推進員研修会を定期的に開催すると共に、地区活動時の相談・支援をしているので、向上の余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☒ 影響がある ☐ 影響がない 廃止・休止した場合は地域の健康づくりに支障がでる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	☐ 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） ☒ 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	☐ 他の事業と統合・連携ができる ☐ 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ （仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☒ 削減余地がない ☐ 削減余地がある 必要最小限の事業費で実施しているので、削減はできない。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか （アウトソーシングなど）	☒ 削減余地がない ☐ 削減余地がある 必要最小限の人件費で実施しているので、削減はできない。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	☒ 公正・公平である ☐ 見直し余地がある 全区が対象であるので、公平公正である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画） ☐ 廃止 ☐ 見直し（ ☐ ：目的妥当性 ☐ ：有効性 ☐ ：効率性 ☐ ：公平性） ☐ 統合 ☒ 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table><tr><td></td><td></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><td></td><td></td><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ☐ 記述説明不足（説明責任不充分） ☐ 評価内容が客観性を欠く ☒ 評価内容は客観的と言える																								
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ②有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的絞込み ☐ 目的拡充 ☐ 事業統廃合 ☐ 事業のやり方改善 ☐ 予算削減 ☐ 予算増大 ☒ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							
(5) 改革・改善による期待成果 <table><tr><td></td><td></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><td></td><td></td><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							